

平成21年6月23日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
代表者名 代表執行役社長 徳田 一
(JASDAQ・コード6425)
問合せ先 財務経理部長 齋藤 昌之
電話番号 03-5530-3055 (代表)

(訂正・数値データ訂正あり) 「平成21年3月期決算短信」の一部訂正について

平成21年6月2日に発表いたしました「平成21年3月期決算短信」につきまして、一部訂正がございますので、下記の通り、お知らせいたします。

1. 訂正理由

決算短信の内容を再度精査いたしました結果、記載内容に一部訂正すべき箇所があったため、連結キャッシュフロー計算書の一部内訳金額及びセグメント情報の記載内容を訂正します。

なお、この訂正により貸借対照表、損益計算書の各科目及び期末現金及び現金同等物の残高等に変更はありません。

2. 訂正内容

- ① 外貨建ての資産の取得や外貨資金の借入、返金等に関しまして、実行時に近い為替レートで計算していた部分がありましたが、これを期中平均の為替レートに統一するように見直しを行いました。
- ② グループ内取引が一部両建てで計算されておりましたので、相殺後の金額に見直しました。
- ③ 「のれん償却額」と「子会社株式取得による支出」の一部が相殺されておりましたので、両建てで計算へ見直しました。
- ④ これらの結果、営業活動によるキャッシュフロー、投資活動によるキャッシュフロー及び財務活動によるキャッシュフローのそれぞれの合計額及び一部内訳金額を訂正しました。
- ⑤ また、投資活動によるキャッシュ・フローの内訳科目である有形固定資産の取得による支出金額の訂正と同時に、注記事項(セグメント情報)の内、各セグメント別及び合計の資本的支出金額を訂正しました。
- ⑥ 併せて、棚卸資産評価規程の見直しに伴い、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更における(棚卸資産の評価に関する会計基準)及び個別財務諸表、会計処理方法の変更における(棚卸資産の評価に関する会計基準)の記載内容を一部変更し、(セグメント情報)の注記を削除いたしました。

3. 訂正箇所(線を付して表示しております。)

以 上

〔訂正箇所〕

【1 ページ】

1. 21年3月期の連結業績（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期	<u>△10,942</u>	<u>△40,420</u>	<u>596</u>	14,177
20年3月期	17,063	23,999	△22,946	56,004

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期	<u>△16,070</u>	<u>△34,912</u>	<u>297</u>	14,177
20年3月期	17,063	23,999	△22,946	56,004

【4ページ】

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

①当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は14,177百万円となりました。また、当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,942百万円の支出（前年同期17,063百万円の収入）となりました。これは、主に売上の減少による税金等調整前当期純損失12,177百万円によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、40,420百万円の支出（前年同期23,999百万円の収入）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出37,463百万円と貸付金の純増による支出3,009百万円によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、596百万円の収入（前年同期22,946百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の純増による収入11,197百万円、長期借入金の返済による支出3,866百万円、社債償還による支出2,300百万円及び配当金の支払による支出4,796百万円によるものです。

(訂正後)

①当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は14,177百万円となりました。また、当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、16,070百万円の支出（前年同期17,063百万円の収入）となりました。これは、主に売上の減少による税金等調整前当期純損失12,177百万円によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、34,912百万円の支出（前年同期23,999百万円の収入）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出33,609百万円と貸付金の純増による支出995百万円によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、297百万円の収入（前年同期22,946百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の純増による収入9,761百万円、長期借入金の返済による支出2,702百万円、社債償還による支出2,300百万円及び配当金の支払による支出4,796百万円によるものです。

【14ページ】

4. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	40,910	△12,177
減価償却費	7,417	5,318
減損損失	25	32
のれん減損損失	505	—
のれん償却額	144	210
投資有価証券売却損益(△は益)	△312	△1,626
賞与引当金の増減額(△は減少)	49	△128
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,276	126
訴訟損失引当金の増減額	△1,412	—
関係会社整理損	—	628
受取利息及び受取配当金	△1,139	△519
支払利息	290	481
為替差損益(△は益)	—	2,735
持分法による投資損益(△は益)	△6,468	△2,092
持分変動損益(△は益)	△16,065	△4,769
固定資産売却損益(△は益)	△3,235	9
固定資産除却損	1	32
売上債権の増減額(△は増加)	△10,128	11,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,565	3,914
未収入金の増減額(△は増加)	3,607	3,503
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,689	△1,853
長期未収入金の増減額(△は増加)	2,392	319
破産更生債権等の増減額(△は増加)	1,435	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	28	△5,342
未払金の増減額(△は減少)	△82	△521
前受金の増減額(△は減少)	△2,989	△5,721
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,013	△1,303
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△23	△60
その他の固定負債の増減額(△は減少)	817	1,971
その他	11	△913
小計	17,639	△6,233
利息及び配当金の受取額	1,139	519
利息の支払額	△243	△352
法人税等の支払額	△1,472	△4,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,063	△10,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,564	△37,463
有形固定資産の売却による収入	13,504	222
無形固定資産の取得による支出	△87	△144
投資有価証券の売却による収入	4,024	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10	—
子会社株式の取得による支出	△855	△465
子会社株式の売却による収入	—	364
貸付けによる支出	△270	△17,747
貸付金の回収による収入	22	14,738
投資有価証券の払戻による収入	17,338	—
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△96
敷金及び保証金の回収による収入	32	158
その他	—	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,999	△40,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,796	11,197
長期借入れによる収入	965	—
長期借入金の返済による支出	△7,388	△3,866
社債の償還による支出	△2,800	△2,300
配当金の支払額	△3,995	△4,796
株式の発行による支出	△14	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
少数株主からの払込みによる収入	—	738
定期預金の預入による支出	—	△403
その他	82	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,946	596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,261	△5,472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,855	△56,239
現金及び現金同等物の期首残高	39,149	56,004
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	14,461
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△49
現金及び現金同等物の期末残高	56,004	14,177

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	40,910	△12,177
減価償却費	7,417	5,318
減損損失	25	32
のれん減損損失	505	—
のれん償却額	144	256
投資有価証券売却損益(△は益)	△312	△1,626
賞与引当金の増減額(△は減少)	49	△128
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,276	126
訴訟損失引当金の増減額	△1,412	—
関係会社整理損	—	628
受取利息及び受取配当金	△1,139	△519
支払利息	290	481
為替差損益(△は益)	—	2,283
持分法による投資損益(△は益)	△6,468	△2,092
持分変動損益(△は益)	△16,065	△4,769
固定資産売却損益(△は益)	△3,235	9
固定資産除却損	1	32
売上債権の増減額(△は増加)	△10,128	11,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,565	3,914
未収入金の増減額(△は増加)	3,607	3,503
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,689	△2,333
長期未収入金の増減額(△は増加)	2,392	319
破産更生債権等の増減額(△は増加)	1,435	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	28	△5,342
未払金の増減額(△は減少)	△82	△521
前受金の増減額(△は減少)	△2,989	△5,721
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,013	△2,005
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△23	△3,601
その他の固定負債の増減額(△は減少)	817	1,971
その他	11	△913
小計	17,639	△11,361
利息及び配当金の受取額	1,139	519
利息の支払額	△243	△352
法人税等の支払額	△1,472	△4,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,063	△16,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,564	△33,609
有形固定資産の売却による収入	13,504	222
無形固定資産の取得による支出	△87	△144
投資有価証券の売却による収入	4,024	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10	—
子会社株式の取得による支出	△855	△511
子会社株式の売却による収入	—	51
貸付けによる支出	△270	△11,802
貸付金の回収による収入	22	10,806
投資有価証券の払戻による収入	17,338	—
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△96
敷金及び保証金の回収による収入	32	158
その他	—	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,999	△34,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,796	9,761
長期借入れによる収入	965	—
長期借入金の返済による支出	△7,388	△2,702
社債の償還による支出	△2,800	△2,300
配当金の支払額	△3,995	△4,796
株式の発行による支出	△14	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
少数株主からの払込みによる収入	—	738
定期預金の預入による支出	—	△403
その他	82	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,946	297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,261	△4,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,855	△55,399
現金及び現金同等物の期首残高	39,149	56,004
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13,621
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△49
現金及び現金同等物の期末残高	56,004	14,177

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(訂正前)	(訂正後)
<p>(棚卸資産の評価に関する会計基準)</p> <p>当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。</p> <p>これにより売上総利益が1,240百万円減少し、営業損失及び経常損失が131百万円増加し、税金等調整前当期純損失が4,103百万円増加しております。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>	<p>(棚卸資産の評価に関する会計基準)</p> <p>当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。</p> <p>なお、事業環境の変化に伴い、期中に「棚卸資産評価規程」を見直しております。これにより特別損失が4,018百万円増加し、税金等調整前当期純損失が同額増加しております。</p> <p>また、セグメント情報に与える影響はありません。</p>

【31ページ】

注記事項

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

(訂正前)

当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	パチスロ・パチンコ事業 (百万円)	ゲーム機器事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益 (省略)						
II 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	61,246	9,800	412	71,458	74,303	145,761
減価償却費	4,831	160	20	5,011	307	5,318
減損損失	—	—	—	—	32	32
資本的支出	7,858	103	—	7,961	29,502	37,463

(注) 1. ～ 5. (省略)

6. 会計処理方法の変更

「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、当連結会計年度の営業費用は、パチスロ・パチンコ事業が131百万円増加し、営業損失が同額増加しております。

(訂正後)

当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	パチスロ・パチンコ事業 (百万円)	ゲーム機器事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益 (省略)						
II 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出						
資産	61,246	9,800	412	71,458	74,303	145,761
減価償却費	4,831	160	20	5,011	307	5,318
減損損失	—	—	—	—	32	32
資本的支出	2,329	141	—	2,470	31,139	33,609

(注) 1. ～ 5. (省略)

(削除)

【45ページ】

5. 個別財務諸表

会計処理方法の変更

(訂正前)	(訂正後)
<p>(棚卸資産の評価に関する会計基準) 当事業年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。 <u>これにより売上総利益が94百万円減少しておりますが、営業損失、経常損失及び税引前当期純損失に与える影響はありません。</u></p>	<p>(棚卸資産の評価に関する会計基準) 当事業年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。 <u>なお、事業環境の変化に伴い、期中に「棚卸資産評価規程」を見直しております。これにより特別損失が136百万円増加し、税引前当期純損失が同額増加しております。</u></p>